

早春の味覚 水かけ菜収穫

小山町の明倫地区の住民らでつくる明倫地域まちづくり推進協議会はこのほど、最盛期を迎えた特産物「水かけ菜」の収穫会を同地区の水田で開いた。子どもも参加し、富士山の伏流水で育った早春の味覚を両手いっぱいに取り取った。

同地区は水資源が豊富で、水かけ菜の栽培が盛んな地域。収穫会は多世代交流や地域コミュニティ

一活性化などを目的とし、会員所有の水田に親子連れなど約50人が集まった。青々と育った水かけ菜の茎をつまんで折り、「パキ」というみずみずしい音を楽しんだ。

水かけ菜は主に米の裏作で、農家が農作業小屋の一角などで漬け

込む「水かけ菜漬け」は北駿の特産品となっている。一方で、食品衛生法改正により6月から漬物製造業が完全許可制になり、生産をやめた農家も一部いる。小山中2年の芹沢颯一郎さん(14)は「収穫は初めてで、楽しさを知った。水かけ菜が今後も地域の特産品として残ってほしい」と話した。

(御殿場支局・塩谷将広)

小山・明倫地域
まちづくり推進協 どもら両手いっぱい



青々と育った水かけ菜を収穫する参加者＝小山町

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真の「水かけ菜」の茎をつまんで折るとどんな音がしますか。 ()
- ②「水かけ菜」が小山町の明倫地区でよく育つ理由を記事から読み取って書きましょう。 ()
- ③特産品の「水かけ菜漬け」の生産をやめた農家がいる理由を一つ書きましょう。 ()
- ④写真の人たちはどんな気持ちで「水かけ菜」を収穫していると思いますか。30字以内で書きましょう (句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
(小学校高学年～高校／社会、総合)

早春の味覚 水かけ菜収穫

小山町の明倫地区の住民らでつくる明倫地域まちづくり推進協議会はこのほど、最盛期を迎えた特産物「水かけ菜」の収穫会を同地区の水田で開いた。子どもも参加し、富士山の伏流水で育った早春の味覚を両手いっぱいに取り取った。

同地区は水資源が豊富で、水かけ菜の栽培が盛んな地域。収穫会は多世代交流や地域コミュニティ

一活性化などを目的とし、会員所有の水田に親子連れなど約50人が集まった。青々と育った水かけ菜の茎をつまんで折り、「パキ」というみずみずしい音を楽しんだ。

水かけ菜は主に米の裏作で、農家が農作業小屋の一角などで漬

込む「水かけ菜漬け」は北駿の特産品となっている。一方で、食品衛生法改正により6月から漬物製造業が完全許可制になり、生産をやめた農家も一部いる。小山中2年の芹沢颯一郎さん(14)は「収穫は初めてで、楽しさを知った。水かけ菜が今後も地域の特産品として残ってほしい」と話した。

(御殿場支局・塩谷将広)

小山・明倫地域 子どもら両手いっぱいに
まちづくり推進協



青々と育った水かけ菜を収穫する参加者＝小山町

記事を読んで、問いに答えましょう。

①写真の「水かけ菜」の茎をつまんで折るとどんな音がしますか。 (パキ)

②「水かけ菜」が小山町の明倫地区でよく育つ理由を記事から読み取って書きましょう。

(例) 富士山の伏流水による水資源が豊富であること。

③特産品の「水かけ菜漬け」の生産をやめた農家がいる理由を一つ書きましょう。

(例) 食品衛生法改正により、漬物製造業が完全許可制になったこと。

④写真の人たちはどんな気持ちで「水かけ菜」を収穫していると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

- ・「水かけ菜」が今後も地域の特産品として残ってくれるといいな。(30字)
- ・みずみずしくシャキシャキした早春の味覚を味わうのが楽しみだ。(30字)
- ・「水かけ菜」をおいしくする豊かな水はこの地域の自慢だな。(28字) など